



恐竜だけではありません

新たにわかったクジラの化石について



図1：むかわ町穂別博物館に展示されているヒゲクジラ化石

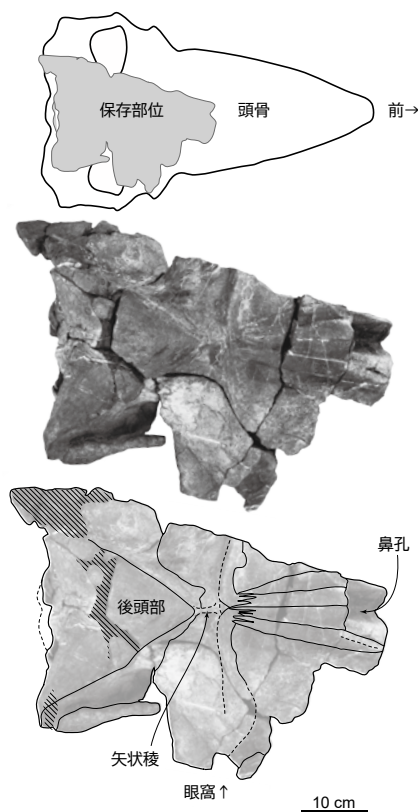


図2：穂別博物館のヒゲクジラ化石（鼻孔の後端から後頭部が残っています）（本研究で発表した論文より改変）

むかわ町の穂別博物館といえば恐竜だけでなく、クビナガリュウ首長竜類・モササウルス類・ウミガメやアンモナイトも有名です。実は恐竜より後の時代の人気者、クジラの化石も展示しています（図1）。

このたび、むかわ町穂別博物館と山形大学、札幌市博物館活動センターが穂別博物館に収蔵されている平取町より見つかったヒゲクジラ化石（図2）を研究し、論文が日本古生物学会の学術誌に掲載されました。国際的な研究成果です。

穂別博物館のヒゲクジラ化石はイサナケタス（*Isanacetus*）と呼ばれるクジラにもっともよく似ています。イサナケタスの化石はこれまで本州（岐阜県と三重県）で数点見つかった限りで、国内ではとても少ない貴重な標本です。実は、穂別博物館のヒゲクジラ化石はイサナケタスとも違っているようで、この研究によっておよそ1600万年前のむかわ町や平取町周辺には未知の種のクジラが泳いでいた可能性が明らかになりました。

一般的に、同じ地域からは、同じ種類の化石が見つかることが多いのです。そのため、新種のクジラが今後、平取町やむかわ町周辺から見つかるに違いないと私たちは考えています。このような可能性を感じていると、発見はしやすくなります。今後の可能性に夢が広がります！

発表論文：田中嘉寛・本山功・櫻井和彦，A new late Early to early Middle Miocene fossil baleen whale aff. *Isanacetus laticephalus* specimen from Hokkaido, Japan. Paleontological Research（日本古生物学会欧文誌），doi:10.2517/PR230029（2024年8月9日出版）

札幌市博物館活動センター学芸員・北海道大学総合博物館資料部研究員 田中嘉寛 寄稿



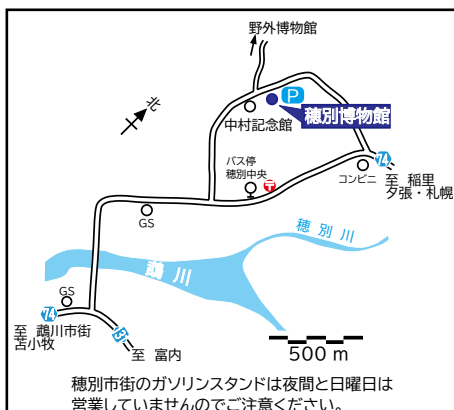
2017 年 10 月の来館

コロナ禍で研究が一時的に停滞してしまいましたが、田中嘉寛博士は2017 年 10 月から 3 回来館され、今回の研究を進めていただきました。
ご対応ありがとうございました。

穂別博物館リニューアルへ（４）



穂別博物館リニューアルを含む「むかわ町復興拠点施設等整備事業計画Ⅰ（イチ）」の実施設計ができました。[ホッピーだより No.473](#)でも紹介した通り、新博物館は温浴カフェと併設される計画で、温浴カフェは新博物館よりも 1 年はやい 2025 年春にオープンする予定です。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
 （最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 （10 名様以上）	200 円	50 円

小学生未満：無料
 むかわ町の小学生～高校生：無料

2024 年 9 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2024 年 10 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日 町民無料観覧日